

～ 三函座 present ～

講演会 「これからの社会と暮らし、自然エネルギーへの転換を考える」

謹啓 この度の東日本大震災において、災害を被られた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当会は旧映画館「三函座」を拠点に、いわき湯本における地域振興事業を展開してきましたが、東日本大震災における原発事故を受け、これからの暮らしを見詰め直すための勉強会を開催する運びとなりました。原発から新エネルギーへの転換について非常に興味ありますが、お題目が大きすぎて具体的にどのような方向を目指してゆけばよいのか正直わかりません。

そこで今回は、メディアでも注目されている「ISEP 環境エネルギー政策研究所」の主任研究員・山下紀明氏を講師としてお迎えしました。エネルギーの基礎知識や、自然エネルギーの未来、先駆地の事例等をご講演していただきます。ここに暮らす私たち自身が、故郷の未来を担う子供たちのために何かしら出来る事を見つけ、それを普段の暮らしの中で実行してゆければと考えています。

しかし、そうは言っても実際に出来る事など限られているのかもしれませんが。其れでも尚、理想とする未来へ向かって努力することそのものが、私たちの心の拠り所となるのではないかと考えています。

これからの暮らしを、一緒に考えてみませんか。

敬具

平成23年6月吉日

三函座の再活用検討委員会・三函座リバースプロジェクト実行委員会
委員長 檜山直美

日時 2011年7月17日(日) 15:00～17:00
場所 常磐共同ガス いわき市常磐湯本町日渡74番地の7
講師 山下紀明 ISEP 環境エネルギー政策研究所 主任研究員
題目 「これからの社会と暮らし、自然エネルギーへの転換を考える」
内容 ・エネルギーの基礎知識
・自然エネルギーの未来
・具体事例の紹介(長野県飯田市、デンマークサムソ島など)
参加費 2,000円



ISEP 環境エネルギー政策研究所

環境エネルギー政策研究所(ISEP)は、持続可能なエネルギー政策の実現を目的として、地球温暖化対策やエネルギー問題に取り組む環境活動家や専門家によって2000年に設立されました。

自然エネルギーや気候変動対策の推進のための国政への政策提言、地方自治体へのアドバイス、そして国際的な調査研究やシンポジウムの主催など、幅広い分野で活動を行っています。

特に震災以降は、戦略ペーパーの発表、被災地に自然得たるぎーの熱や電気を届ける「つながり・ぬくもりプロジェクト」の実行を行い、メディアにも多く出演しています。

山下 紀明 環境エネルギー政策研究所 主任研究員

2005年春から環境エネルギー政策研究所において研究員として活動。2009年から主任研究員。持続可能なエネルギー政策の研究を進めており、特に東京、横浜、北九州などの地方自治体との協働を多く行う。太陽熱利用システムの普及のため、各種研究プロジェクトや「グリーン熱証書」制度の構築に関わる。

大学や地域団体などでの講演多数、「経済効果を生み出す 環境まちづくり」(ぎょうせい、2010年)「自然エネルギーと省エネルギーの章」ナビゲーター、「地域政策研究」第54号(地方自治研究機構、2011年)「自治体エネルギー政策の最前線」などを執筆。その他、「世界の都市における太陽エネルギーの利用拡大政策」2008年1月17日、東京都、NEDO主催セミナー「100万kWの太陽エネルギーの導入に向けて 新エネルギー・フォーラム in 東京」等プレゼンテーションを行う。



- ◆申し込み先 常磐共同ガス 担当:小野寺 TEL0246-43-3148 FAX0246-44-6296
- ◆申し込み方法 電話、又はFAXで予約。 限定60席 (当日、座席に余裕があれば入場可)

名前

所属

連絡先

住所

主催:三函座の再活用検討委員会・三函座リバースプロジェクト実行委員会
助成:財団法人 文化・芸術による福武地域振興財団